

## 第8回登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会防災・環境部会議事録

- ◆ 開催日時 平成 26 年 11 月 14 日（金） 18：00 ～ 19：30
- ◆ 開催場所 登別市役所 2 階 第 1 委員会室
- ◆ 出席部会員 部会長 江口 武利  
副部会長 川島 芳治  
部会員 久保田 博史  
関 修  
鹿原 徳子  
遠藤 潤  
橋場 太（市庁内検討委員会 副部会長）  
【総務部総務G総括主幹】  
石垣 英雄（市庁内検討委員会 部会員）  
【総務部総務G防災主幹】
- ◆ 欠席部会員 部会員 和泉 薫
- ◆ 事務局 大越総務部企画調整G主査  
打田総務部企画調整G主査
- ◆ 議題 「第 2 章自然とともに暮らすまち」に関する考え方について

### ◎部会長

寒い中、出席ご苦労さまです。年末が差し迫ってきました。年内はあと 3 回くらい会議を開きたいと思っていますので、よろしくお願いします。

### ◎事務局

今回は、体系図（案）でいきますと、防災から戻って自然環境のところの意見交換を行いました。

今日は葬斎場のところが終わりましたら、治山・治水対策の推進に続けていきたいと思えます。

施策の基本的な方向『5 葬斎場・墓地の整備』の主要な施策としては、『① 葬斎場の効率的な運営』と『② 墓地の整備』の 2 つがあります。

### ◎副部会長

現在、葬斎場そのものは問題なく運営されているのですか。

◎事務局

はい。指定管理者制度を導入して運営管理を行っています。

◎部会長

登別市だけで処理しきれないことはあるのですか。

◎市庁内検討委員会副部会長

追いつかないということはないと思います。炉は3基ありますし、時間をずらすこともできます。

◎部会長

たいていは遺族の意思もあるんでしょう。

◎市庁内検討委員会副部会長

冷却する時間を空けなければいけないでしょうしね。

◎部会長

葬斎場は、ほかの施設に転用することもできませんし、これはこれでいいのでは。

◎部会員

葬斎場は何年目ですか。

◎事務局

平成16年度に開設していますので、本年度で11年目ですね。

◎部会員

中間改修を行っているようですが、全体では施設を何年間維持する予定ですか。

◎部会長

そんなに傷むような感じはしませんが、耐火関係でしょうか。

◎事務局

耐用年数は約30年となっています。後は予算措置によりますが、担当の考えでは10年ごとに耐火物の取り換えなど中間改修を行い、定期的にメンテナンスを実施して30年は維持したいとのこと。送風機や部品の取り換えなどを検

討しています。

◎部会員

共同墓地の関係は、造成など何か進んでいるのですか。

◎副部長

今ある墓でも、手入れをする人がいなくて荒れているのもありますね。お寺にお骨を送ってくる例もあるとか。

◎部長

少子化が進むと、墓を見る人がいなくなりますね。

◎副部長

合同墓の話は、先日の市議会でも取り上げられていましたね。

◎市庁内検討委員会副部長

そういうニーズが出てきたということですね。いろいろな対応を求められます。修正ではありませんが、主要な施策の考え方では、合同墓の建立と周辺整備について書かれています。

◎部長

市内の墓地はどこにあるのですか。

◎市庁内検討委員会副部長

上鷲別、富岸、来馬、富浦、中登別、カルルスですね。

◎部会員

鉾山町にもありますね。

◎副部長

合同墓の規模は。何千体くらいですか。

◎市庁内検討委員会副部長

まだそこまでは決まっています。

◎副部長

先日、インターネットで調べましたら、東京都小平市で 3,000 体の合同墓、1 体で 10 万 8,000 円必要とのこと。自治体ごとに違うとは思いますが。これからはこういうのが必要になってきますよね。墓を守る人がいるうちはいいのですが。

◎部会員

都会の方が、ニーズが高まっていると聞きました。

◎部長

都会の古い墓地は、管理者がいなくて手入れがされていない荒れ放題になっているところもありますね。

◎部会員

立体駐車場のよう、お骨が出てきて、手を合わせているのをテレビで見たことがあります。

◎部会員

墓地の管理や整備は市が直接行っているのですか。民間が行っているのですか。

◎市庁内検討委員会副部長

墓地の草刈りや水汲み場の整備、支障木の剪定などを民間委託で行っています。

◎部長

供物は持ち帰るよう言われていますね。

◎副部長

来馬のように古い墓地もありますね。

◎部長

車が無いと、墓地まで行くのも大変です。

◎部会員

持ち主がいなくて、宙に浮いている墓はあるのですか。

◎部会長

あるとは思いますが、調査してみないと分からないのでは。調査自体も大変でしょう。

◎事務局

墓地のところはこれでよろしいでしょうか。

施策『Ⅰ 総合防災体制の整備』に戻ります。施策の基本的な方向『3 治山・治水対策の推進』の主要な施策として、『① 治山事業の推進』、『② 治水事業の推進』、『③ 公共下水道事業による浸水対策』があります。

◎部会長

森林の維持保全ですが、この周辺に国有林はあるのですか。昔は営林署がありました。現在、管理はどこが担っているのですか。

◎市庁内検討委員会副会長

俱知安町にある後志森林管理署が担当しています。幌別町に出先の事務所があります。国有林のそばに登別温泉街がありますが、昭和58年の大雨で当時の登別厚生年金病院に土砂が流れ込みましたね。

◎部会長

市民会館の裏の山には、住宅が張り付いていますね。

◎副部会長

昔よりは治山が進んで、災害の心配は少し減ったのではないですか。

◎部会長

市独自にやる治山はほとんどないのですか。

◎市庁内検討委員会副会長

治山は道の施工がほとんどですね。

◎副部会長

昔は冠水がよくありましたが、今はないのですか。

◎市庁内検討委員会副会長

昔と比べて、集中豪雨が少なくなったんだと思います。今でも集中豪雨があ

れば冠水が発生する心配はあります。大雨が予想されるときには、私たちも準備をします。ポンプ借りたり、待機したり、万一の準備はします。

◎部会長

新生町1丁目と3丁目で車庫の車が水につかったという人がいましたが、数年前から地域で排水管の工事をしていますね。排水管を入れたら、それでおさまった感じですね。前はひどかったです。今も地域の別の場所を工事しています。

◎市庁内検討委員会副部長

学田通りですか。

◎部会長

道道ですね。

◎部会員

基本は鷺別川方面に流しています。鷺別川も川の中の木が太くなってきていますね。

◎部会員

私も気になります。流木が川の流れを阻害するのではと心配しています。

◎市庁内検討委員会副部長

道が管理する河川も少しずつ整備はしてくれていますが、道も予算がないので、草刈りも頻度が減っています。

◎副部長

集中豪雨で一番心配なのはどこですか。

◎市庁内検討委員会副部長

若草町の方が低いので、そちらが心配ですね。

◎部会員

鷺別町の道道のアンダーパスも冠水する心配がありますね。

◎事務局

アンダーパスには、北海道で冠水注意の表示を取り付けていますね。

◎市庁内検討委員会副部長

岡志別川が氾濫したら、市役所の前も昔は冠水しました。河川改修で今はそれもなくなりました。

◎部会員

市街地が冠水すると、線路の路盤の方が高いから、水が抜けていかないですね。

◎市庁内検討委員会副部長

来馬川が幌別川と下流でつながっています。大雨が降って、ダムで放水すると、来馬川の水がスムーズに流れない心配があります。

◎副部長

昨年でしたか今年でしたが、来馬川の増水で避難の呼びかけをしましたよね。

◎市庁内検討委員会副部長

昨年ですね。現場で見ている、危なかったです。

◎部長

そのとき、ある人から私のところに来馬川が氾濫したと情報がきて、市連合町内会事務局に確認したら、誤報だったと分かりました。『氾濫しそうだ』が、『氾濫した』に変わったんですね。

◎市庁内検討委員会副部長

そのとき思ったのですが、コミュニティFMはいいですね。地元密着の情報を流してくれます。

◎部長

大規模停電のときもそうでしたね。災害が起きたらコミュニティFMを使うということにしておくといいですね。

◎市庁内検討委員会副部長

大規模停電のとき、上登別町を回ったのですが、暖房は薪ストーブがあるので、後はコミュニティFMを聞いていると話していました。

◎部長

コミュニティFMで情報を簡単に取れますし、繰り返し放送していましたね。

◎部会員

防災の助成金を活用し、災害のとき、自動で起動するラジオを購入しました。今年、未明に特別警報の発表でアラーム音とともに起動し、すぐに起きてパソコンで情報確認しました。

◎部会員

雨水対策事業は平成 29 年度で概ね終わりそうなのですか。

◎市庁内検討委員会副部長

中央通の若草側の方は平成 29 年度に完了する見込みですが、市内全体はもう少しかかると思います。

◎部会員

市内の想定最大雨量はどれくらいですか。

◎市庁内検討委員会副部長

登別市の年間雨量は 2,000 ミリまでは届きません。1,700 から 1,800 ミリくらいでしょうか。

◎副部長

カルルスはもう少し多いのですか。

◎部長

カルルスと白老町森野の降水量は別格ですよ。

◎事務局

9月に、登別市に大雨特別警報が発表されました。あのとき、1時間に 100 ミリといわれましたが、山中だったので、市街地は影響ありませんでした。

◎部会員

あのときは、白老町で大きな被害が出ていましたね。避難勧告も出ていましたね。

◎部長

市内全体に避難勧告という自治体も全国にはありますね。避難場所は浸水の心配がない場所になるんでしょう。

◎市庁内検討委員会副部長

鷺別地区ですと、鷺別公民館の2階、富岸地区だと緑陽中学校がありますね。

◎事務局

治山・治水のところはこのあたりでよろしいでしょうか。

次に移ります。施策『Ⅱ 消防・救急救助体制の充実』の下は、施策の基本的な方向が2つあります。まず、施策の基本的な方向『1 火災予防活動の推進』の主要な施策として、『① 防火思想の普及』、『② 防火査察の徹底』、『③ 消防団の活性化』があります。

◎副部長

住宅用火災警報器はどれくらい普及しているのですか。

◎市庁内検討委員会副部長

登別市の普及率は高かった方だと思います。

◎部長

当時、各町内会で共同購入していましたし、かなり普及していると思います。市が委託して設置状況調査をやっていましたね。

◎市庁内検討委員会副部長

消防の査察でも、一軒一軒ではないですが、ひとり暮らし世帯や高齢者世帯などを中心に確認に回っていましたね。

◎副部長

前は鷺別や幌別など、消防職員が回っていましたが、ここ数年は見たことがありません。

◎事務局

設置義務化の前は、PRに回っていたと思います。

◎部会員

昔は消防職員か消防団員か、見に回っていましたよ。ここ数年は見たことがないような気がします。

◎部会長

設置義務化後も、どれくらい設置になっているかもどんどんPRした方がいいですね。機器もかなり高かったのですが、町内会の共同購入で比較的安く購入できました。

◎部会員

町内の老人憩の家にも設置しました。

◎部会長

2人いればすぐ逃げることができるかも知れませんが、問題はひとり暮らしのお年寄りですね。調査に来た後、玄関にはるステッカーを置いていきましたね。

◎事務局

年末恒例のひとり暮らしのお年寄りや高齢者世帯への消防の査察ですが、今年も間もなく始まります。消防職員のほか、消防団女性分団の方も一緒に回ります。

今、住宅用火災警報器の設置状況を調べましたら、5月末現在で85.6パーセントですね。

◎部会員

意外と高いですね。

◎副部会長

警報機は、10年はもつそうですね。町内会で一括購入していれば、更新時期も一緒なので、交換時期を忘れることはなさそうですね。

◎部会員

ついでですが、AEDがどこに設置されているかはわかるのですか。

◎事務局

市で把握しているのは、市の公共施設においてあるものですね。民間施設などでどこにおいてあるかは把握しきれていないと思います。市民便利帳と電話帳の合冊版でマップと一覧表を出しています。

◎部会長

商業施設で大きく掲示してあるところもありますけど、どこにあるかは周知

する必要がありますね。

◎副部長

使い方も学ばないといけませんね。

◎部長

うちの町内会では、消防支署に依頼し、毎年やっています。いざというとき、どこにあるか分かりませんので、地区の周辺の情報があるといいですね。

◎部会員

私の町内会でもAEDを購入しようとしたのですが、価格が高いんですよ。

◎市庁内検討委員会副部長

電池や部品も耐用年数がありますから、交換も必要です。市の公共施設に設置してあるAEDは、寄付でいただいた物の方が多いですね。

◎部長

市の公共施設も、公民館など主要な施設は設置していますよね。老人憩の家まではないですが。市の設置しているところで何回使ったかはデータありますか。

◎市庁内検討委員会副部長

実績といっても、ほとんどないのでは。あっても数えられる程度かと思います。

◎事務局

『② 防火査察の徹底』ですが、消防で危険物を扱っている事業所などに査察を行っている例があります。『③ 消防団の活性化』の関係では、先ほどもお話しした女性分団の高齢者宅などへの査察とか、保育所とか幼稚園の訓練で、紙芝居を披露するというのもやっていますね。

◎副部長

消防団は団員が減っているようですね。企業に協力依頼にいつても、ぎりぎりの人数で仕事をしているので、難しいとのことでした。

◎部長

昔は企業でも率先して送り出していたけど、今は会社と地域どっちが大事なんだという時代になってしまいましたね。

◎副部長

自分たちの生活を成り立たせるだけの余裕がないと、消防団活動への参加は難しいですね。

◎部長

団も定年制になったそうですし、あれで人数が減ってしまいましたね。高齢者が多いと活性化しないですし。

◎事務局

団長で70歳、団員で60歳ですね。

◎部会員

もう少し定年を延ばしてもよいのでは。

◎事務局

現在は、消火活動の中心は消防職員で、消防団にはサポートをお願いしているそうです。昔は職員が少なくて、団員がホースもって消火してたんです。『1 火災予防活動の推進』はこのあたりでよろしいでしょうか。

次に移ります。施策の基本的な方向『2 消防力の強化・高度化』の主要な施策として、『① 消防施設、機器整備の高度化と効率化』、『② 消防用通信体制の整備』、『③ 消防水利の拡充』、『④ 広域消防体制の整備と消防施設の適正配置』があります。

◎部会員

『② 消防用通信体制の整備』ですが、『充実』や『拡充』でしたら分かるのですが、『整備』とあると、今は無いように見えてしまいます。

◎部会員

第2期基本計画では、デジタル無線の整備に関する記載がありますね。

◎部長

以前、市は、神奈川県海老名市から中古の消防車をもらいましたね。

◎市庁内検討委員会副部長

年数は経っていますが、傷みは少ないです。市では、消防団の車両として活用しています。消防車も全て同じ機能ではなく、ポンプ車・タンク車、それぞれ

れの役割をもっています。

◎部会長

お金を出せば新車を買えるんでしょうけどね。

◎市庁内検討委員会副部会長

消防車1台数千万円はするはずです。さまざまな装備や機材を取り付けますので、高くなります。

◎部会長

新たに購入するのは、市の財政状況としてはできないですよね。

◎市庁内検討委員会副部会長

アナログ無線からデジタル無線に変えたばかりで、一通り終わったことから、庁内の部会では、②の表現を①に統合してはどうかと話をしています。

◎部会長

『③ 消防水利の拡充』は、川からの取水のことでしょうか、消火栓のことでしょうか。

◎市庁内検討委員会副部会長

川はあまりないと思いますが、消火栓など、火災のときに住宅街に計画的に配置していけるようにということです。

◎部会員

気のせいかもしれませんが、最近、道路そばの消火栓をあまり見かけないような気がします。

◎部会長

以前は、消火栓は目立ってましたね。消防職員や消防団員が把握していればいいことです。

◎市庁内検討委員会副部会長

消火栓が無くなっているわけではありません。除雪車が通った後は、その後に消火栓を掘り起こしています。

『④ 広域消防体制の整備と消防施設の適正配置』については、庁内で①へ

統合してはどうかと話が出ています。

◎部会長

広域化の話は進んでいるのですか。

◎市庁内検討委員会副会長

今のところ、実行する話には至っていません。市民の安全・安心を守るためには、登別市の消防の本署・支署の現体制を確保が必要ではという議論もあります。庁舎の老朽化で、登別温泉支署と登別支署の統合も議論されています。救急出動は、登別温泉の方が多いい状況です。

◎副部会長

救急車はすべての署に配備されているのですか。

◎市庁内検討委員会副会長

本署・登別温泉支署・鷺別支署に各1台配備されています。

◎部会員

山火事対策は何かありますか。

◎市庁内検討委員会副会長

特別にはしていませんね。数年前、美園町の奥で山火事がありましたね。

◎部会員

山の近くで住宅火災などがあると、山に燃え移らないかと心配したものです。

◎事務局

対策といいますか、毎年春に森林管理署など関係機関で山火事対策の会議をしています。

◎市庁内検討委員会副会長

もしものときは、北海道の防災ヘリや自衛隊のヘリに出動をお願いしています。美園町の奥の山火事ときは、富岸小学校のグラウンドを中継地点にして消火活動に協力いただきました。

◎部会員

昔は、畑に放った火が山に燃え移ることがありましたが、今は畑をやっている人が少ないですね。

◎市庁内検討委員会副部長

入山者への啓発チラシの配布に市も参加しています。

◎部会長

喫煙する人も減って、そこから引火することもなくなりましたね。

◎事務局

『2 消防力の強化・高度化』は、このあたりでよろしいでしょうか。

今回は、施策『Ⅲ 交通安全の推進』から再開したいと思います。部会は、11月28日（金）の18時から、この会場、登別市役所2階第一委員会室で開催します。